

※グループの場合は、筆頭者(リーダー)の氏名、所属、当該企業もしくは学校区分及び所在地を記載して下さい。

ユースケース	<p>⑦つの該当するユースケースに☑を入れて下さい。</p> <p>■①生産現場における課題を解決するためのツール <input type="checkbox"/>②工場や企業の外と情報をやり取りする際の課題を解決するためのツール <input type="checkbox"/>③事務における課題解決ツール <input type="checkbox"/>④グローバル化にともない海外で展開する為に役立つツール <input type="checkbox"/>⑤自社製品をIoT化するためのツール <input type="checkbox"/>⑥データの活用全般に関わるツール <input type="checkbox"/>⑦人材育成の観点で活用できるツール</p>			
ツール名	異常検知通報システム「aimo - Sense」			
候補者	(フリガナ) ナガノ アツシ 代表取締役 長野 篤志	他 2名	企業名/学校名 団体名/個人名	株式会社リッジワークス
企業区分	<input type="checkbox"/> 大企業 <input checked="" type="checkbox"/> 中小企業 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> その他 ()	所在地	(都道府県) 北海道	開発形態 <input checked="" type="checkbox"/> 既存のモノを利用 <input type="checkbox"/> 新規開発 開発費用 <input checked="" type="checkbox"/> 分からない <input type="checkbox"/> 円

ツールのPRポイント	
◎ツールの概要(どんなお悩みを解決できるものか) ※250字以内	
<p>工場等で常時稼働している機器類には、常に故障や、異常動作のリスクが伴います。夜間の無人運転時に異常が発生した場合には、ラインがストップして生産に大きな影響が生じたり、初期対応の遅れから事態が拡大し復旧に相当な時間を要することがあります。</p> <p>異常検知通報システム「aimo - Sense」は、工場等の計測装置類をリアルタイムで監視し、いつでもどこでも工場のご担当者様による機器の状態把握を可能にするシステムです。スマホ等から簡単に機器の状態を確認することができるため、ご担当者様は異常発生時にいち早く対応できます。</p>	
◎導入容易性やコストパフォーマンス ※500字以内 (いくらで導入できるか、どれぐらいのどういった効果が期待できるか)	
<p>既存の制御卓(監視卓)に、異常検知通報システム「aimo - Sense」を接続することにより、1卓あたり2万円程度で計測装置類の監視が可能です。(※注1)</p> <p><<、異常検知通報システム「aimo - Sense」の特徴>></p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の制御卓(監視卓)のシリアルポート等に簡単に接続可能！ →接続が容易で、別途準備するものがありません。導入コストを抑えることが可能です。 ・少ないデータ量を実現！ランニングコストを抑制！ →IoT用軽量プロトコル(MQTT)に対応。 監視する箇所にもよりますが、おおよそ4か所の計測でランニングコストはBluemixを利用することで監視機器1台あたり約350円/月以下！(※注2) ・クラウドの活用により、新たなサーバインフラの構築が不要！ →クラウドは高セキュリティのIBM Bluemixを活用。 使用期間のみの課金となるため、機器が稼動しない期間があればコストの抑制が可能！ <p>(注1) 本製品の設置に関しましては別途設置工賃が必要になります。詳しくは弊社にお問い合わせください。 (注2) 4種類のセンサ(計140kb/s)を使用し、24時間一ヶ月通して使用した場合の例になります。</p>	
◎導入波及性や有効性、安全性 ※500字以内 (横展開の可能性や、セキュリティへの考慮等)	
<ul style="list-style-type: none"> ・高いセキュリティ 本製品は、IBMの高セキュリティを誇るクラウド「Bluemix」を活用します。 Bluemixは、個別に登録している特定の端末にしか監視状況、異常時通知を行わないため、外部からの不正なアクセスによる情報の取得が不可能です。 ・蓄積された監視データを活用することで、機器のヘルスチェックが可能 本製品は、リアルタイムで機器の状態を把握するツールとして活用できますが、蓄積された監視データを、別途、人工知能として有名なIBM「Watson」(注3)や、データ解析ツールにより分析することで、監視対象機器のヘルスチェックや入れ替えタイミングの予測などが可能となります。 ・導入までの期間の短縮と、高いコストパフォーマンス 各種ハードウェアとの接続という面では、シリアルや接点などの既存の端子が利用可能であれば、設置・接続を簡単に行うことができます。 サーバや特殊な接続装置の導入も不要で、ランニングコストも安価に抑えることができ、コストパフォーマンスが高いことも特徴です。 <p>(注3)IBM「Watson」の利用につきましては、本製品の標準機能には組み込まれてはおりません。利用に関しましては別途ご相談ください。</p>	

◎使用方法 取扱説明書 ※500字以内

<事前にご準備いただくこと>

- ・IBM Bluemixへの登録 (※注4)(※注5)
- ・インターネット接続環境 および Wi-Fi環境

<操作・動作手順>

- ①インターネット接続環境 および Wi-Fi環境の導通を確認します。(※ユーザー様対応)
- ②異常検知通報システム「aimo - Sense」にWi-Fi接続情報を設定します。(※弊社対応)
- ③ユーザー様設備のシリアル出力、接点出力を異常検知通報システム「aimo - Sense」に接続します。(※弊社対応)(※注6)
- ④弊社装置の電源を入れて稼働を開始させます(※ユーザー様対応)。この時点でネットワークへデータが送信されます。
- ⑤スマホやPCで固有のBluemix画面にアクセスし、データの監視を行います(※ユーザー様対応)。
異常があった場合、PCやスマホ、タブレットに警報メールが着信し、開くことで工場内で発生したトラブルの内容が表示されます。

(注4) IBM Bluemixサービスの利用につきましては弊社が利用登録の申請を代行いたします。(接続機器1台あたり2,000円)

(注5) Bluemixサービスの利用に際して、個人法人を問わず無断での外部への情報の公表はございません。

詳しくは下記サイトをご覧ください。

<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>

(注6) ユーザー様設備のシリアルプロトコルに応じてカスタマイズが必要になります。(別途作業料が発生いたします。)

記載事項チェック欄

- 印刷時に枠内に文字が収まっているか。

(様式2)「案件の自由記述及び、概要図・写真」

◎自由記述 ※1500字以内 導入事例・実績、導入支援体制(有れば)等記載、その他概要図、写真の貼付も可 ※4点

弊社はこれまで自動車、制御機器分野向けに組み込みソフトを多数開発しており、またシステム開発分野では特に中小企業向けのPC、スマートデバイス向けの各種管理アプリケーションを開発してまいりました。

また平成25年度補正「中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(2次公募)」において、申請いたしました「3Dプリンタの導入等による新たな入退場管理システムの開発」を皮切りに、様々な業種の企業様のニーズに対応べくソフトウェアだけではなくハードウェアの製品試作も含めた一貫したソリューションの提供を目指しシステムを提案、開発してまいりました。

当該システムは当初某SI企業様から施設内の各部屋の状態監視(照明のつけっぱなし、騒音、急激な温度変化、人体感知)解決の相談を受けて基礎研究を含め試作を行ったところ、ご好評いただいたことから、弊社製品として販売いたしましたことが発端になっております。

導入事例としては都内の宿泊施設2か所に試験導入として2台納品いたしました。今後同様の施設にも設置していく予定になっております。

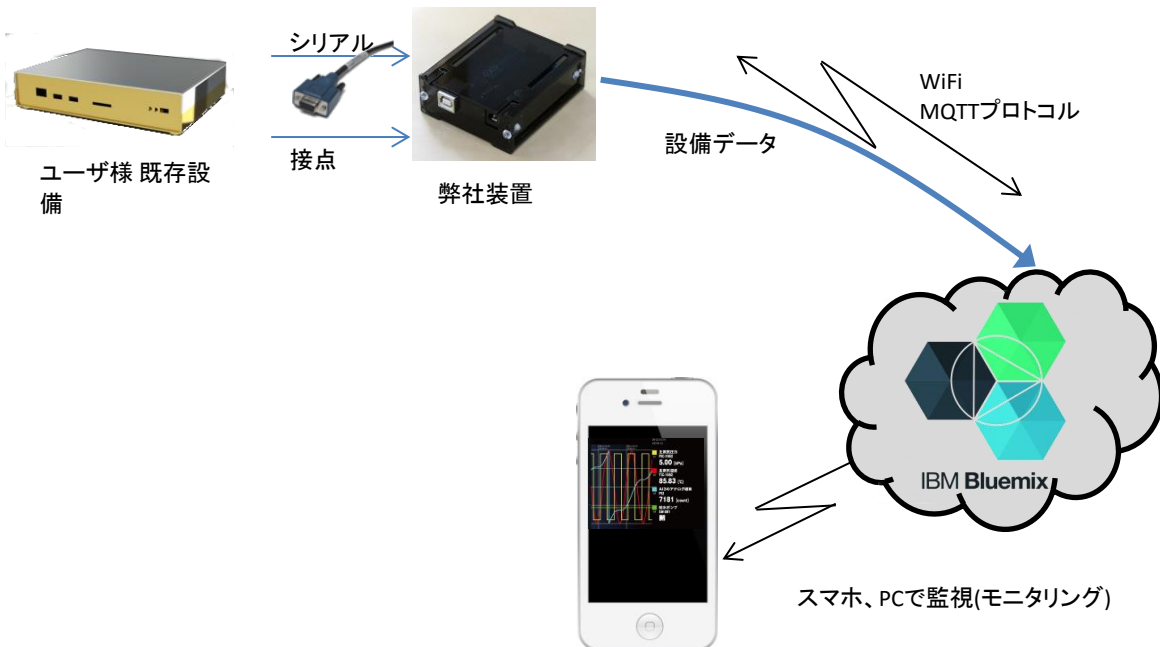
主な特徴として、お客様の使用用途に応じて柔軟なセンサの組み換えが可能であり、例えば赤外線による物体の表面温度、照明の輝度、人感センサ、音センサなどは標準で実装しております。これをクラウドサービスを経由してPCやスマホ、タブレット上からの監視ができる仕組みになっており、現在先述のSI企業様には顧客企業に対して提案ツールとしてご利用いただいております。

中小製造業で使用している機械設備の状態監視などに対しても、例えば本機に既存のRS-232Cなどのシリアル端子や、接点端子を有する機器であればそれらを接続し、従来の監視アプリケーションのカスタマイズをすることにより監視対象として追加対応可能であるため、導入コストも抑えることが可能です。

【利用イメージ】



【構成図】



Bluemixとは？

アプリケーションを構築・管理・実行のための、クラウドを基盤とし、オープン・スタンダードを活用した新しいクラウド・プラットフォーム (PaaS)です。

Bluemixでは強固なセキュリティーを提供し、さらに開発するアプリケーション自体のセキュリティーを維持強化するツールも提供されており、Bluemixの「金融機関等コンピューターシステムの安全対策基準」(FISC安全対策基準)への対応もされているため、お客様がクラウド・サービスを自社システムのインフラストラクチャーとして採用を検討される際、セキュリティーやコンプライアンスへの対応の調査についてもお客様のリスク評価を円滑に実施していただくために、公益財団法人金融情報システムセンター「金融機関等コンピューターシステムの安全対策基準・解説書(第8版追補改訂)」(FISC安対基準)をベンチマークし、IBMで自己評価を実施の上、第三者による支援として新日本監査法人による助言も受けています。

組織にとっての Bluemixとしては、さまざまなコストの削減を実現すると同時に、社内での技術的なノウハウをほとんど必要としないクラウド・プラットフォームであるという特徴があります。Bluemix プラットフォーム自体がクラウドと組み合わせられていることで、急な増設などに対して必要な弾力性と容量の柔軟性を実現することができます。

記載事項チェック欄

- 印刷時に枠内に文字が収まっているか。 図など貼付の際、文字などが潰れていないか。

■第1回 中堅・中小製造業者向けIoTツール募集イベント 書類
(様式4)「追加情報」

ツール名 ※40文字以内

異常検知通報システム「aimo - Sense」

ひとことPRコメント(15文字以内)

機器をスマホ&クラウドで監視！

参考Webページ(URL)

現在制作中です！

(様式5)「問合せ先情報」

問合せ先情報

企業名 組織名	株式会社リッジワークス	
住所	〒060-0042 札幌市中央区大通西17丁目2-22 平木ビル2F	
電話番号	011-213-7492	
メール	info@ridgeworks.co.jp	
ホームページ	www.ridgeworks.co.jp	
担当者名	長野 篤志	(ふりがな ながの あつし)